

茨城教育

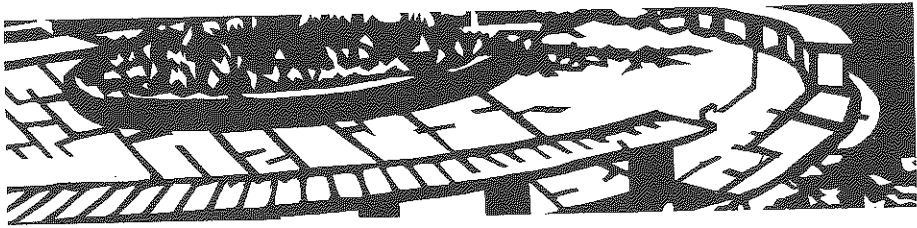
第 866 号

特集主題 「令和時代の家庭・地域とともにある学校づくり」
— 授業改善「主体的・対話的で深い学び」の実践 —



令和3年6月

一般社団法人 茨城県教育会



茨城教育 第八六六号 目次

令和三年六月

■特集主題 令和時代の家庭・地域とともにある学校づくり——授業改善「主体的・対話的で深い学び」の実践——

◆私の好きなことば(116)

公益社団法人茨城県青少年育成協会会長

大窪 修二

□絵「深紅のハーモニ」

あたらしいともだち(19)

平成30年4月開校

土浦市立新治学園義務教育学校

七字 純子

◆巻頭言 令和時代の新たな価値「がつ・か・ち」

——いまこそ、学校・家庭・地域社会の連携を深めて——

一般社団法人茨城県教育会前会長

樋口 浩史

論説

「令和時代の家庭・地域とともにある学校づくり」

茨城大学大学院教育学研究科

准教授 杉本 憲子

4

——授業改善「主体的・対話的で深い学び」の実現——

○生徒の自己肯定感を高め、互いに認め合う高め合う学級経営の在り方について

——個を生かす指導と、互いに認め合う場面設定を通して——

利根町立利根中学校教諭 高橋 瑞樹

10

○多様な子どもたち一人ひとりの状況に応じた工夫ある教育活動

——1年生の国語物語文において、タブレット端末を活用し、「主体的・対話的で深い学び」の実現を目指した実践を通して——

鹿嶋市立豊津小学校教諭 茅根和華子

19

若手教員実践記録

研究実践レポート

① 幼児期にふさわしい学びの充実を図る

——幼児が主体的に夢中になって遊べる環境構成や援助の在り方について考える——

水戸市立見川幼稚園 教頭 大金 裕美

25

② 自閉症・情緒障害学級における体験活動が及ぼす教育的効果

——小学校におけるピクトグラフを用いた自然体験学習を通して——

小学校教諭

30

教育談話室から 子どもの声

○チーム支援の在り方——独り占めしない——

中学校特別支援知的学級担任

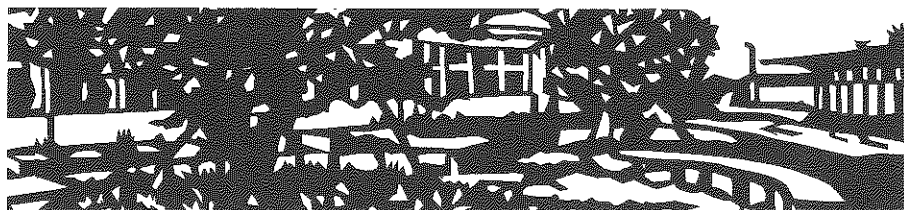
小学校教諭

43 40 37

○教室を児童一人ひとりの居場所とするために

○生徒の心の奥に寄り添い続けた生徒指導の実践を通して

中学校生徒指導主事



フレッシュ先生 ―夢を語る― (33)

- 子どもと共に学ぶ日々 納多 志歩 46
- 児童と共に 伊藤 風紗 47
- 笑顔は幸せの波紋 中山 和 48
- やってみたい!と思える授業作り 佐山 志帆 49

後輩に託す応援歌 (53)

- 忙しい時こそリラックス 前野平八郎 51
- 現実逃避 田邊 一男 52
- コロナ禍で思うこと 横田 和巳 54

ひろば

- 療育支援事業に「ふれあいペアレントプログラム」を導入して 行方市健康増進課 宮内 恭子 56
- 楽しい学校の創造「龍の子人づくり学習」を核に 龍ヶ崎市立馴染小学校 校長 小倉 聡 59
- 道徳教育におけるユニット型学習指導計画と協働型指導体制の確立とオンラインへの思い 常総市立鬼怒中学校 校長 石塚 哲也 61

わがPTA活動紹介 (50)

- コロナ禍の光 神栖市立神栖第一中学校PTA 63
- PとTが連動する学校づくり 桜川市立大和中学校PTA 64

サークル紹介 (66)

- 坂東市理科サークル 代表 真中 光男 66

教育功績者表彰

- 定時総会 73

県教育会だより

- 76

声の欄 (42)

- 吉田 行博・鈴木 政徳・田崎 泰昭 78

編集後記・表紙絵メモ

- 80

【わが郷土の教育遺産（人物・施設）】 (25)

- 旧黒沢中学校本館 故関 南沖 78
- 元水戸市立浜田小学校 校長 小林 宏次 神栖市立植松小学校 四年 宮内 結生 79
- 鉾田 次弘 80
- 鉾田 次弘 80